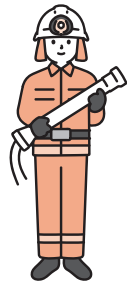




草津市消防団



消防団は、地域に密着した消防活動を行い、火災はもとより、地震や風水害などの大規模災害のときに、地域の安全を守っています。

現在、草津市消防団では246人の消防団員が活躍しています。外国人に対する支援を行う機能別消防団員も活躍しています。

- 問**・危機管理課(1階) ☎561-2325、FAX561-6852
・湖南広域消防局 西消防署(上笠町)
☎568-0119、FAX568-2119

草津市消防団とは

消防団員は、災害時などに活動する、非常勤特別職の地方公務員です。普段は、仕事や学業、家事、育児をしながら、災害時の活動や訓練、イベントへの参加など、さまざまな活動を行っています。外国人に対する支援を行う機能別消防団員も活躍しています。

消防団員の多くは地域の住民であり、地域密着の組織です。地域のことをよく知る地域の人々が、消防や防災組織を結成しているので、これほど心強いものはありません。また、普段から地域住民と深いつながりがあることは、災害時に大きな助けとなります。

草津市消防団の活動

消防や救護、防災に関する知識と技術を習得し、災害発生時に、消火や救出・避難誘導などの活動を行います。また、防火訪問や広報などの防災活動、市民救急指導員として、平時には、応急手当や救命処置の普及啓発活動により、日々地域の安全を守っています。

機能別消防団員は、外国語ハンドブックを利用し、外国人への防災啓発活動を行います。また、避難時の避難誘導、情報伝達の支援、避難所の通訳などの支援も行います。

団員の募集

- 対** 市内在住か通勤・通学している18歳以上の、健康な人
他・市から年額報酬や、出動手当が支給される他、一定期間勤務し退団した場合には、退職報償金を支給します
・大学生や専門学生の消防団員は、学生消防団活動認証制度を活用することで、消防団での活動や経験を就職活動の自己アピールなどで活用できます。この制度は、大学や経済団体へ周知されています



こどもたちの未来を守るためにできること

STOP! 児童虐待



～11月はオレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーンです～

- 問**・県中央子ども家庭相談センター(笠山七) ☎562-1121、FAX565-7235
・家庭児童相談室(さわやか保健センター 3階) ☎561-2460、FAX561-6780

子育てが辛い、悩みを抱えているあなたへ ～子育てのこと誰かにお話しできていますか～

こどもの成長の過程には、さまざまな特徴があります。例えば、2歳前後から始まる「第一自立期」、10歳ごろから始まるとされる「思春期」などです。第一自立期では、こどもが意に反することに対し「嫌だ」と言い、親が子育てに困ったり、不安になったりすることがよくあります。そうした時期に、家事や仕事の両立はとても大変です。

こどもを正しく育てようと多くの親が頑張っています。そうした思いが強ければ強いほど「子育てがうまくいかない」と悩みや不安を抱えてしまうことがあります。ときには思わず怒鳴ってしまったり、子育てができなくなってしまったりすることがあるかもしれません。そんなとき、子育てや生活全般のことで、相談できる人がいると、とても心強いものです。決して一人で抱え込まず、相談しましょう。



次のような行動は虐待になります

- 身体的虐待** 殴る、蹴る、激しく揺さぶる、やけどを負わせる、首を絞める
- ネグレクト** 食事を与えない、こどもだけを家や車に置き去りにする、ケガや病気になっても医療受診をさせない、登校させない
- 心理的虐待** こどもの目の前や聞こえるところで、配偶者などに暴力・暴言をふるう、無視、きょうだい間差別
- 性的虐待** こどもへの性的行為、性描写や性的行為を見せる、性的な写真の被写体にする

あなたの勇気がこどもを救う

「虐待かも」と思ったら児童虐待対応ダイヤル☎189(いちはやく)へ!(24時間365日)。近くの児童相談所につながります。

※相談者の秘密は固く守られます。こどもや保護者のSOSのサインを感じたら電話を!



SOSサイン一例

- ・こども 不自然なアザ、衣服の汚れ、表情が乏しい、家に帰りがたがらない、夜遅くまで一人で遊んでいる、むさぼるように食べるなどの異常な食行動
- ・保護者 こどもを置いての外出、地域からの孤立、人前でこどもを激しく叱る・叩く、こどもの健康や安全を考えない